

令和 元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人
脳損傷友の会高知 青い空

1 事業の成果と課題

令和元年度も月例会(毎月第3日曜日)、女子会(毎月第2土曜日)、中土佐町つどい処(奇数月第4土曜日)の会を続けて行うことができた。しかし、令和2年3月の月例会は新型コロナウイルスの影響により、中止とした。

指定障害福祉サービス事業所(就労継続支援B型)青い空は、開所日数=258日、延べ利用者数=5,459人(+832人、+18%)、1日平均利用者数=21.16人(+2.58人、+14%)、実延べ作業時間=25,046時間(+3,663時間、+17%)、工賃支払総額=4,251,415円(+243,195円、+6%)、平均時給=170円(-17円、-10%)となり、昨年度に続き平均時給が前年度比マイナスとなった。今後も利用者増が見込まれるため、新たな収入源を得ることが急務である。

事業所の作業は、浄水器カートリッジ分解作業における工賃収入が、前年度比約18%増となり最も安定した収入源になっている。その他の工賃収入として、ガスメーターの解体作業、銅線の剥線作業も大きな収入源になっている。レザークラフト作業は、現在、2名の利用者が取り組んでおり、1名はほとんどの工程を単独でできるようになっており、店舗販売だけでなく障害福祉サービスなどのイベント会場での出店・販売を行ってきた。農作業として、野菜選定作業や段ボール詰め作業を行い、重要な収入源となっている。昨年オープンしたCafe BLUE SKYでは、新しい利用者も従事し始め、少しずつではあるが提供できるメニューも増加している。

新たな作業として、令和2年1月より越知町で「喫茶 おちつき処」の運営を開始した。現在は主に2名の利用者が従事しており、モーニングや昼食の提供を行っている。今後は接客業務の適正のある利用者様に従事していただき、作業人数の増加を計画している。

社会参加を促進するための事業としては、事業所の利用者を対象に感情のコントロール方法や円滑なコミュニケーション方法についての勉強会を2回実施した。また10月にオーベルジュ土佐山にてバーベキューを開催し、総勢21名の参加があった。1月には土佐御苑にて新年会を開催し、総勢25名の参加があった。

令和元年5月27日より高知県から委託され、高知県高次脳機能障害支援拠点センターを近森リハビリテーション病院と協同して運営してきた。地域研修会や家族教室などにも取り組んだ。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
理解を広めるための事業	つうしんブルースカイ発行 日本脳外傷友の会 全国大会参加 アメニティフォーラム参加	毎月1回 10/18・19 2/8～ 2/10	事務所 香川県	5～6人 5人 5人	会員・医療・福祉・行政200 部 約400名	3,844
社会参加を促進するための事業	BBQ大会 新年会 花見大会 勉強会	10/13 1/26 中止 9/16・ 11/24	高知市 土佐御苑 高知市 青い空	3人 4人 2人	18人 25人 15人	0
相談、調査、支援事業	月例会 女子会 つどい処	第3日曜 第2土曜 奇第4土	青い空 青い空 つどい処		当事者・家族・医療関係者 等 12～20 人	0
社会福祉サービス事業	就労継続支援B型事業 青い空	平日8:30 ～17:30	青い空	8人	当事者30人 家族30家族	4,577
特定相談支援事業	高次脳機能障害相談所 青い空	平日 10:00～ 16:00	青い空	3人	高次脳機能障害を呈し利用 を希望する者。	2,006
居宅・介護予防サービス事業	該当なし					
高次脳機能障害事業	高知県高次脳機能障害支援拠点センター	平日8:30 ～17:00	近森リハビリ テーション病院	3人	支援者および当事者、行政 関係者	3,649

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
物品・食品等の製造及び販売事業	該当なし					
出版物の販売及びビデオ等の貸し出し事業	該当なし					